



介護あんしん 相談員だより

第37号 平成30年11月発行
発行：鳥栖地区広域市町村圏組合
(介護保険課 地域支援係)
連絡先：0942-81-3111

介護あんしん相談員は橋渡しをします！

施設に入居していると、ちょっとした不満や不安があっても、直接スタッフに言うことを遠慮してしまうことがあります。介護あんしん相談員はご本人やそのご家族が施設職員に直接は言いにくいことをお聞きしたり、客観的な目で見て気づいたりした点を施設側に伝えて問題の解決をはかります。



利用者さんや介護あんしん相談員の声からいくつかご紹介します
(平成30年8月・9月)



～介護あんしん相談員の声より～

相談員：居室に置いてある洗面器やごみ箱に、自分の名前が書いてあるのが
気になられるようで「自分の字ではない。誰だろう？」と落ち着かない
ようでした。改善できれば良いのですが。
施設：名前の件は検討してみます。

【鳥栖地区広域市町村圏組合より】



ご家族の都合で、介護者不在となり緊急受け入れをされた方だそうです。まだ入居後
数日で洗面器やごみ箱、衣類等も自宅で使っていた物ではなく全て新しく買い揃えられた
ので、余計に自分の物ではないとの認識を持たれたのではないかと思います。

施設ではすぐに対応していただいたそうです。名前はすぐに消して、底面に書き直され
たそうです。その後は特に気になる様子は見られないそうです。

ご家族は善かれと思って、全て新品を準備していただいていたのでしょうか。

普通は新品だと嬉しいですね。しかし、今まで慣れ親しんだ自宅から施設への急な入
居となれば、不安もいっぱいだと思います。そのような時は、今まで使っていた身の回り
の物が少しでもあった方が、安心されたかもしれませんね。

今回は施設ですぐに対応をしていただきありがとうございました。今後ともよろしくお
願いいたします。

相談員：利用者さまのお部屋の壁に、体位交換時のクッションの当て方の写真が
壁に貼られていました。分かりやすくて良いですね。
施設：肩や膝下のクッションの当て方が皆さん違いますので、分かりやすいよう
にしています。

【鳥栖地区広域市町村圏組合より】



こちらの施設は、新人職員さんもいらっしゃるために、ケアの統一が出来るようにと
部屋に貼ってあるそうです。写真で見た方がよりわかりやすく、職員さんも理解しやす
くなれているということでした。

「百聞は一見にしかず」ということでしょうか。利用者さまも常に入れ代わりますし、
全ての個別対応の仕方を覚えるのは至難の技でしょうね。とても良いアイデアです。

写真で見たら、ご家族も訪問の際に対応が出来るのではないのでしょうか。

また、脱臼を繰り返された既往のある利用者さんには、装着の仕方が統一出来てい
なかったのも、しっかり予防をするためにも、壁に張り紙をすることで装着の仕方が統一
出来るようになったそうです。

施設で働く職員さんの中には、たくさんのアイデアマンがいらっしゃるようです。

他の施設でも、投薬のミスがないように写真で薬の管理など、多くの工夫がされてい
るようです。今後ともよろしくお願いいたします。



～利用者さんの声より～

ご家族：いつも厚着をしているが、お世話になっているので言いづらい。
施設：貴重なご意見ありがとうございます。怪我のリスクがある為に長袖の物を
着用していますが、注意していきたいと思います。

【鳥栖地区広域市町村圏組合より】



利用者さまのご家族としては、施設の職員さんにはとても良くしていただいているの
で、なかなか施設に直接は言いにくい事のようなですね。

こちらの利用者さまは怪我予防の為に長袖の着用でしたが、事前にご家族への説明が
あればよかったのかもしれないですね。しかし「寒い」との訴えも多くあるようです。

高齢になると、体温調節もしにくくなり体調でも左右されますね。夏でも室内は空調
が整い、場所によってはエアコンの効きが良いところもあるそうです。利用者さまのご
意見や温度計・湿度計などで確認してからの対応となるのでしょうか。

いつもご家族さまのお気持ちを考えて対応していただいているとは思いますが、これ
からもよろしくお願いいたします。



鳥栖広域 相談員だより

検索

鳥栖地区広域市町村圏組合のホームページで、今までの「介護あんしん相談員だより」を閲覧
することができます。ご利用ください。